







白脇田んぼアート

1	平成23年 「赤富士」		東北、地震・津波被害(3.11)の年。「がんばろう、日本！」を掲げて地元住民で田んぼアートに挑戦。「休耕田利用」を主目的として、浜松市南区の地域力向上事業の一つに採用される。「赤富士」がアートされたこの田んぼ、現在は白脇ファーマーズ・マーケットとなっている。尚、この年の収穫米は、この度の大河ドラマ「おんな城主 直虎」ゆかりの引佐の神社のご神事でおむすびにして翌年秋奉納していただいた。
2	平成24年 「家康くん」		前年と同じ南区地域力事業にてアート。場所は南に移動。
3	平成25年 「アンパンマン」		同じく南区地域力事業にてアート。場所は、駐車場が確保できる場所、少し北に移転。この年以降は同じ場所にて実施。このアンパンが黄金色になった頃、時を同じくしてやなせたかし氏亡くなる。
4	平成26年 「おかめとひよっこ」		優良活動団体として、南区・区長賞受賞。商標権が問われない「おかめとひよっこ」をアート。子供はおかめ納豆としてしか「おかめ」を知らなかった。
5	平成27年 「ドラえもん」		JAとびあ浜松と共催。
6	平成28年 「ジュビロくん」		JAとびあ浜松と共催、ジュビロ磐田後援。

白脇田んぼアートは種類の違う古代米(餅米)、赤米・緑米・ピンク米・紫黒米等、何種類かの稲を使って稲穂の色でアートします。種類によって稲穂の出る時期が異なりますので、同じ時期に全ての稲穂が出るよう何度かに分けて田植えをします。ですから、日々アートは姿を変え、ピーク時前後1ヶ月くらい鑑賞を楽しむことができます。収穫米は小粒のこともあり玄米での使用をお勧めします。お米に一割ほど混ぜて炊いて召し上がってください。



天竜から直接水が引かれています。蛇口をひねると、きれいな冷たい水が流れてきます。



見頃のピークは9月中旬